木の花ファミリー通信 Vol.85

富士山の麓より21世紀の新しい生き方をお届けします Konohana Family News http://www.konohana-family.org

21 世紀の人類のモデルとなる「大人サミット宣言」 これは目覚めたものとして生きる「ヲトナ」としての 一人ひとりの独立宣言であり 新しい「クニ(地球)ツクリ宣言」です

物です。地球生態系を破壊することもできれば、生態系

影響力のとても大きな生き

私たちが持っている無限の可能性を人類の調

時代は今、とても大きなターニングポイントを迎えて

その個性や能力を思う存分発揮して調

今回の大人サミットでは、これからの人類のモデルとなる「大人サミット宣言」を参加者のみんなで創り上げ、なる「大人サミット宣言」を参加者のみんなで創り上げ、なる「大人サミット宣言」を参加者のみんなで創り上げ、なる「大人サミット宣言」を参加者のみんなで創り上げ、なる「大人サミット宣言」を参加者のみんなで創り上げ、なる「大人サミット」です。そのきっかけが、この「大党めから始まっていきます。そのきっかけが、この「大党めから始まっていきます。そのきっかけが、この「大人サミット」です。

「第9回大人サミット 地球会議 in 木の花フ木知なる世界への冒険へようこ

からの参加者も加わり国際的なサミットになりました。リを行う、前人未到のサミットです。今回は、世界各地いを行動により未だかつてない新しいクニ(地球)ツクる新しい時代を敏感に察知した人々が集まり、自らの想開催されました。「大人サミット」とは、既に到来してい開催されました。「大人サミット」とは、既に到来してい明ー」が、2015年11月21日~23日の3日間に渡ってリー」が、2015年11月21日~23日の3日間に渡ってリー」が、2015年11月21日~23日の3日間に渡ってリー」が、2015年11月21日~23日の参加者を加入が

ては共に、相大なる宇宙の物語へ出発しましょう!

光のピーク

12800年前

カタカムナの発祥

1600年前

文明

西曆紀元

ローマ文明

9 11

大人サミットとは、年齢・社会的立場・性別・国籍・貧富の差に関係なく、この時代をどうしていくのかを真剣に考える志ある人たち誰もがいまる場です。「第9回大人サミット 地球会議師 木の花ファミリー」は、これからの新しい時代の「クニ(地球)ツクリ」について話し合うため、地球、そして人類の現状に問題意識を持つ人々が、日本だけではなく、アメリカ、タイ、バヌアツ、インドネシア、中国内モンゴル自治区から集い、国際化しました。 自治区から集い、国

東西の文明の繁栄と衰退が800年毎に入たり、私たち人類の歩みを見ていきましていることが見えてきまた。太陽は約9000回の螺旋を描きながら、太陽は約9000回の螺旋を描きながらい、大いなすると、私たち人類の歩みを見ていきました。太陽は約900年が、大いなである25800年の公億年での太陽の一螺旋である25800年毎に入れたち人類の歩みを見ていきました。 そ

3200年前

古代アジア

文明

アジアで諸宗教発生

エジプト

エーゲ文明

銀河の夏至 光のピーク 天地の理と共 カタカムナの 生きた時代 発生·発展 12900年前 カタカムナの 衰退·封印 太陽の螺旋運動 地球の歳差運動 800年のサイクル 青陽期 時代は闇から光へ 王の時代 Turning Point 紅陽別 型人の時代 2012年12月21日 銀河の冬至 闇のピーク 天地の理が 忘れ去られた時代

4800年前

文明

原始

エジプト文明

そして二日目 の午後は、今回 の午後は、今回 の中で宣言を完成させることが難しい場合を 考慮し、運営側は予め骨格を用意していました が、流れは思わぬ方向に動き、まずはここまで のプログラムの流れを 受けて、参加者一人ひ とりの中に湧いてきた とりの中に湧いてきた となりました。 することを、地球のではなく、 バリでコミュニティを立ち上げる

これまでの型にはまっ一人ひとりが、生きた言 ニア すると、個々のオリニア ジナルな響きが生き生での きと表現された素晴らい時間となったのです。言葉だけの「宣言」はなく、これから暮らしの中で行動はなく、これから暮らしの中で行動が、近ないである普通の人たちが、近れている。 生きた言葉で表現す

れ替わる文明周期の1600年、本れ替わる文明周期の1600年、本が太陽を一周する248年など、現ものサイクルのターニングポイントものです。こうした大きな世界した大きな世界のために自らを輝かせて生きられために自らを輝かせて生きられることをそれぞれが感じ、見出していく時間となりました。

「大人サミット宣言」について語り合う参加者たち

は、私たち一人なべらしく輝いていいのために大いに

時代は強い意志 を持って今も進ん でいます。そして この宇宙、地球、 人類のそれぞれの 生態系ネットワー クの中で、誰もが役割を担ってい トワークの中で、誰もがその人らい かされたとき、誰もがその人らい のです。そこに向かう意志は、な 地球、地球、 بح そ 0) へいく いく と

ントを迎えてい 現代はいくつ さらに冥王星

なサ なりました

た。宣

言

トランスパーソナル心理学を 研究するトマス

Point

Turning

闇のピーク

2016

産業革命

ヨーロッパ

文明

太陽の一螺旋 25800年のサイクル

いく意識を持った人の姿であるのです。
く、世の中に対してより良い貢献をしてく。世の中に対してより良い貢献をして人を意味し、子どもと区別される言葉で人を意味し、子どもと区別される言葉でよが、大人という文字は日本語では成ますが、大人という文字は日本語では成ますが、大人という文字は日本語では成ますが、大人という文字は日本語では、

「ヲト

れは今

8000年前

カタカムナ文字の発祥

農耕の始まり

6400年前

シュメール文明

現代物質文明の元となる

文明の発祥

の元になっていると言われています。 の元になっていると言われていることを感受し体系化し、残しられていることを感受し体系化し、残しられていることを感受し体系化し、残しいが発する響きの中から48音を聞き分留から来ています。カタカムナ人は、字智から来ています。カタカムナ人は、字 を高度に発達させたカタカムナ13000年前の東アジアで字 ほろい 種類の読み方があり、そ があり、そ (マール) (マール

9600年前

創り出してきました。 本来、生まれたての生命は歪みや濁りのない純粋な響きを 響かせていますが、現代社会では元の響きが汚れ、忘れ去 られています。カタカムナは、知識として学んでも捉えきれ るものではなく、日常の中で直観力を鍛えることで様々な響 きを感じ取り、宇宙の真理を体得するものなのです。

カタカムナ 約13000年前に東アジアに存在して

の物理性やその元となる世界を体感し、生活していました。

1949 年に発見されたカタカムナ文献は、楢崎皐月(ならさき

さつき) によって解明され、その叡智が現代に復活しました。

カタカムナは、私たちが生きている現象界の奥に現象界の

元となる潜象界(せんしょうかい)があり、そこから生まれる響きによって現象界が創造され、又潜象界へ還っていく天

然循環のプロセスを解き明かしています。彼等は自然を観察

する中で直観力を磨き、言霊に威力があることを熟知してい

たため、言葉で争うことをしない「言挙げしない民」でした。

直観力を失った現代人は、潜象界の存在を認識することが

出来ないために、形を優先した価値観によって多くの問題を

いたカタカムナ人は、直観により自然

11200年前

望に対して限界に達しているがゆえに、で求め、争い、時代はそのピークを迎えで求め、争い、時代はそのピークを迎え時代でしたから、人々は不必要なものまられまでの時代は「オトナ」の発展のこれまでの時代は「オトナ」の発展の

展してきた時代ということです。 広がり、物理・科学・テクノロジーが 広がり、物質的に豊かで便利な世の中 に陰陽で表すと、「才」は陽を表しませ (します。) 大人サミット発起人 いさどん

宇宙的にはいいとのを削ぎ落とし、必要なす。こものを仕分け、安定させることです。こものを仕分け、安定させることです。こものを仕分け、安定させることです。こうとしてきましたが、これからの社会をうとしてきましたが、これからの社会をうとしてきましたが、これからの社会をうとしてきましたが、これからの社会をうとしてきましたが、これからのと言います。 らす意識を持つもののことですいく力を身につけ、社会に健会 が 拡大したも が と不必要な は は

命以降、私たち人類はこうしてきょうない。特に250年前のイギリス産業革さく縮小し物事を探求することでもあり、それは大きな展させていくことであり、それは大きな展させていくことであり、それは大きなまず、「オトナ」の「オ」は拡大し発まず、「オトナ」の「オ」は拡大し発

?

0

球」のことを指し、地球生態系を完成させることが「クニの広大な三次元宇宙の中で生命体が自由に活動できる「地着した」という意味であり、現象界を指します。特に、こ「自由に行動できる区画された地域」あるいは「自由が定「クニツクリ」の「クニ」とは、カタカムナで紐解くと、「クニツクリ」の「クニ」とは、カタカムナで紐解くと、 なのです。

が出来るのです。
が出来るのです。
をういった秩序の元に一人ひとりが個性を十分に発す。そういった秩序の元に一人ひとりが個性を十分に発過去から未来へ進む時間の流れはその柱(縦軸)となりに生命を表現することです。秩序とは宇宙の法則であ こ上市を長見することです。失きの存在が連携するという「秩序」気ままに振る舞うことではなく、 ここでいう「自 個々 の上にあって、自由宇宙意識に目覚め、 の存在が自 となり 発 ま

まうな存在となっており、そのよ生命ネットワークを破壊し続ける代のほとんどの人々にはクニツクリは完成がわって初めてクニツクリは完成が、その中にあり続けていますが、その中にあり続けていますが、その中にあり続けていますが、そ た段階での生命 クニツクリの意識、りは完成するので、そのネットローが、そのネットロールを りる地球にとっての腐力のりの意識はなく、元成するのです。しか ウ ウ いる自覚もないる自覚もない。 しかし、現がし、 むしろの癌細胞の る自覚もなく、むしなく、むしない。

-が 発 が

すでに開いているのです。 真に花開く時代が訪れます。 真に花開く時代が訪れます。 でのための時代の扉は が行うものではありん。この地球の細胞でん。この地球の細胞で地球生命ネットワーク地球生命ネットワーク ることなり 人や政治家、 いのが現状です 「「「「「」をつくりあげる」である。 「こうの細胞同士が連携していこズムのもとに、一つひい球生命ネットワークのメ ツクリ ら抜け出し、とりが現状のの細胞であるい細胞であるとりが現状のとりが現状のというませい。



第9回大人サミット参加者のみなさん

宇宙生命体として僕たちは生きている



多様な人たちが平和のために語らい合うことの、なんて素晴らしいことか。国境なん てものはない。地球生命体としてつながっている。それどころか、宇宙生命体として 僕たちは生きていることを確認する時代が来た。変化って素敵だな。僕は人が変化し ていくのを観るのが楽しい。だから、僕も皆と一緒に成長していく。

精神性 星々のサイクルによって人は生かされている



いくら人が「僕の人生だ!」と主張しても、宇宙的に観れば、星々の中のただの生命活動にし かすぎない。今こうしている間にも、皆で一緒に宇宙空間を移動していて、常に変化している。 1年前の僕は人の役に立とうなんて思いもしなかったけれど、確実に時間は流れて、自分も変 - わっている。頭で理解しようとしても何も身に付かない。だからこそ、正直に"今"を"生きる" ことを大事にやっていきます。

私たち一人ひとりの宣言文

「私が地球の未来を変えていく」ー

・一人ひとりの小さな意識改革が連鎖し広まることで 新たな時代が始まります

精神性 皆で共に新しい時代を旅していく



今回大人サミットに参加して、すごく意識が広がりました。でも「僕はこの意識 を明日の仕事で保っていられるのだろうか?」と考えてしまいます。だけど、そ れでこそ、今なのだと。そうやって、一瞬一瞬自分の意識がどこにあるのかを認 識し、自分の囚われを外していく。時には少しの勇気を持って、時には感情を外 して物事を冷静に観ることによって。人間は囚われる方に行ってしまいがちだか らこそ、皆でつながって確認し合いながら進んでいくのです。 そのスタートが、この大人サミット。

天然循環法 自分から「クニツクリ」の循環を創っていく



木の花ファミリーを形成している医・農・食・経済・社会・教育・ 環境・芸術という天然循環法が印象に残りました。精神性がその中 心を司っているように、何が今一番自分の心を司っているのかと考 えると、「共に響く、共に拡げる、共に創る」こと。これにプラス、 好奇心。楽しく共に響いて、拡げて、創ることを行動していきます。

医療 病院や薬のいらない世界の実現へ



時代の大変化と共に自らの意志で、自らの道を歩んでいる。僕の 夢は、医療や福祉の世界に革命を起こすこと。それは、病院や薬 に頼らない世界。これからは、もって生まれた能力を思いっきり爆 発させて、みんなが生き生きと魂の喜びを感じるような調和の超 あわちゃん 笑いの場を創っていく。

矢

天然循環法 国際的な精神的ネットワークを現していく



地球と人類の歴史にとって記念すべき時に、私たちが果たすべき役割 についてさらなる確信を得て、私たちの霊的な家族とのさらなる調和を 経験しました。これからバリで始める私たちのスピリチュアルコミュニティ で、天然循環法のベースとなるカタカムナのライフスタイルの文化変容 を公式化し、教え、研究せざるを得ないことを強く感じています。悟りが 開かれていくこの時代に、東洋と西洋の文化の統合のために行動し、私 の精神的・霊的・意識的・物理的能力を捧げることを宣言します。

芸術 この地球上に生きていることがどれほど素晴らしいことなのか!



私たちは、毎日新たな朝を与えられている。真実に目覚めることは、毎朝 目覚めることと同じことなのよ!自分が何者であるのかを思い出すことに よって、一人ひとりの目覚めの時代が始まります。詩、歌、絵・・・それらは、 この地球上にいることがどれほど素晴らしいことなのかを人々に思い出さ せることができるのです。



天然循環法

ヲトナ 0



とおる

畑を耕す前に心を耕せ

僕は農業をやってきて、世の中でも農業は大切だと言われているけれど、結局お金ベー スで考える社会になっている。それをおかしいと感じていた時に木の花ファミリーと出会 い、「畑を耕す前に心を耕せ」という考え方を知った。今の社会の戦争・対立・差別 といったものは全て、僕らの心から出てきたもの。だから、自分の心を観て浄化してい くことが平和の一番のきっかけになると信じ、まずは自分が心を大事にしていく。



食 社会の中で穏やかで美しい波紋を広げる



社会の中で穏やかで美しい波紋を広げる小石になるために、まずは家族を幸 せにできるよう、家庭の中でその小石になりたいです。それには、心を込め たていねいな生活をして、ここでいただいたような整った料理を作れるよう な心でなければ、と思っています。ここの食事は、心が整っている人が作っ ている味がするのです。

環境 地球というひとつの家に暮らしている



仏教僧として、私はすべての人々と共に悟りを得ることを願っています。 タイにある私の家は、皆さんに開放されています。平和や愛、そして相 互理解は、私たちが食事を共にし、語り合い、笑い、愛し合うことで実 現するのです。私たちが「地球」というひとつの家に暮らしていること プラ サンコン を皆で実感する時が来ています。私たちはひとつの太陽、ひとつの大地、 ひとつの水、ひとつの空気、そしてひとつの風のもとに生きているのです。

教育 僕たち一人ひとりの意識改革が求められている



次世代の子どもたちはすでに大事なことをわかって産まれ てきているから、彼らが持って産まれた役割を全うできる ような環境づくりをしていくことが大事で、逆に、今の世 の中を創っている大人たちへの教育が必要だ。今の時代を 生きている人たち一人ひとりの意識改革が求められている。



経済

「傍楽(はたらく)」ことからクニックリを始める



世界を変えるなんて考えたこともなかったけれど、何かできることから始 めようと思い参加を決めました。一番心に響いたのは、「傍楽(はたらく)」 という言葉。私は今まで「働く」ということは、とにかくお金をもらうた めという感覚だったのですが、真の意味は「傍(はた=他者)を楽(らく)」 にすることで、それは互いのために働き、共に創っていくことだと知り、 目から鱗でした。まずは自分を変えるために「傍楽」ことから始めます。

社会 水面に波紋を広げていく小さな石として



私たちは他者を変えることはできません。しかし、同時に私たち自身の美しさによって他者を変えることは できるのです。私の夢は、水面に波紋を広げていく小さな石になることです。私たちはこれからインドネシ アのバリでコミュニティを始めるのですが、それは社会にとって小さな石になることでしょう。私たちは霊 的な存在として、国際的なコミュニティをどのように発展していくことができるのか、とても楽しみです!

「私が地球の未来を変えていく」一人ひとりの小さな意識改革が連鎖し広まることで

は、少しでも信じられるようになりたいと思ったからです。実際に参加していた価値にれまで自分が懸命に努力していた価値にれまで自分が懸命に努力していた価値にれまで自分が懸命に努力していた価値を関が、産業革命以降の250年という、を思ったからです。実際に参加してみて、と思ったからです。実際に参加してみて、と思ったからです。実際に参加してみて、と思ったからです。実際に参加してみて、と思ったからです。実際に参加してみて、というによっているとも、 。今回大人サミットに参加した目的かなか信じられない人たちの代表成功者であり、見えない世界をな成な者であり、見えない世界をないないがあり、 考えたことがありませんでした。

とをしたら、それは大変なトラブルにことをしたら、それは、対に他人の子どもなりますから、私は絶対に他人の子どもなりますから、私は絶対に他人の子どもなりますから、私は絶対に他人の子どもなります。そして、そういった環境で育っいます。そして、そういった環境で育った子どもがどういう表現をするのかを、た子どもがどういう表現をするのかを、た子どもがどういう表現をするのかを、た子どもがどういう表現をするのかを、たっている。

すが、大人と理屈で話しても伝わらないなのか、何とかそれを振り払いたいのでなのか、それとも私自身の自我わかりません。教育がもたらした常識とわかりません。教育がもたらした常識と

説明も、もういらないと思ったのです。の絵や詩に出会ったら、何となくそんなもどかしさを感じます。でも子どもたち

いでできるのだろうと思います。いでできるのだろうと思います。その時にどうしたらいいをれはおそらく、誰かのためという感覚を持つことができれば、無う感覚を持つことができれば、無いという気持ちはあるのですが、

小学校2年生のゆうとうの絵

私たちは問題を解決するためにここに集いました。それは単なる問題ではなく、事実上、緊急事態です。歴史の中で、私たちはこうした事態を何度も経験してきました。現在私たちの持つ意識は時の始まりから私たちをここに導いてきた意識と同じであり、今という時は歴史の全てを含んでいます。つまり今、私たちは未来全体を変全てを含んでいます。つまり今、私たちは問題を解決するためにここに集いました。それなりによっているのです。

私たちは銀河の時を表現している

ステ

ブン

「地球を平和にするいさどんと地球をきれいにするやさしいドラゴン」

僕は眼精疲労を患いましたが、自分ででいる矛盾を正確に理解できるのです。外に出て、宇宙からの視点で観ること外に出て、宇宙からの視点で観ることのことが良くわかるように、地球の起のことが良くわかるように、地球で起

す。僕は彼らにの大人サミット

に参加したと思ってい

病人や障が

「肉体には制限があっても、心は、僕は彼らにこう伝えたいです。

心はいつで

海外に行くと日本

世界の未来が託されているのです。 世界の未来が託されているのです。 というお釈迦様の言葉です。 後にも先にもあなたという存在は宇宙 後にも先にもあり、その一人の変化が 確実にこの世界を変えます。今、この 確実にこの世界を変えます。今、この は しゅう というお釈迦様の言葉です。 というお釈迦様の言葉です。 というお釈迦様の言葉です。 というないにあり。」これは、 にいるのです。

の悟りは仏のためにあらず。

大人サミット中、一番感銘を受けたことです。今の私の生きている近所で同じる子ども会議です。一人の小さな男の子が、鉛筆を友達の額にさしてしまったことを皆の前で報告していました。驚いたとを皆の前で報告していました。驚いたとを皆の前で報告している近所で同じとです。今の私の生きている近所で同じ と、自分のこと、自分のことがそういうことをやっても嘘になるとがそういうことをやっても嘘になるとがそういうことをやっても嘘になるとがそういうことをやっても嘘になるといます。その時にどうしたらいいのか。これはおそらく、誰かのためということもから切り離された誰かではなく、かまかにいうのがままれた誰かではなく、からりがます。 無理し ない

人類についての捉え方を変えることでしょう。私たちが銀河的視点から物事を観はじめる時、

あなた

※子どもたちの絵や詩は右記のサイトでご覧いただけます。木の花ファミリーブログ「子どもたちが平和を絵にしたら」 http://blog-konohanafamily.org/?p=13519

経済 は 政治よりも政治で、 哲学より ムルン

0)

ミリーはその仕組みをすることにています。このような自然と調和した生き方は、地球のためでもあり、太陽系のためでもあり、太陽 今の時代の人たちは人間の本来の在り方を忘れ、欲望のままに走っています。しかし、そういった価値観が今、ます。しかし、そういった価値観が今、目覚めさせようとしています。それが自然災害となって今地球上で頻繁に起きており、こういったことは今後ますます多くなっていくことでしょう。そして、人々が目覚めた後に必要とされる社会モデルとして、木の花ファされる社会モデルとして、木の花ファされる社会モデルとして、木の花ファ

べることは現実問題必要なのでの話を持ち出します。確かにご飯がこういう話を始めると、人々は

サミッ

開

会議

僕がこう

で、ご飯を食べることと対等にしていけないので、ご飯を食べることと対等にしてはいけないのです。僕が今勉強しているのは貨幣経済ですが、それは本当の経済学ではありません。本当の経済は、政治よりも政治で、哲学よりも哲学なのです。しかし、今の経済は人間がただお金をまわしている行為にしか過ぎず、それでは経済と言えません。そこで、僕たちはカタカムナには物理学と天文学、それから哲学も含まれています。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。僕は、木の花ファミリーのいます。

に大切なものなのですが、今た生き方のもとになる精神性が一瞬にして浮かびました。こ

学術的に伝えていくことが求められると思うのです。ここの皆は求められると思うのです。ここの皆はれたちであり、学者の役割はそれを理人たちであり、学者の役割はそれを理していく時に、人類にとってその転換していく時に、人類にとってその転換していく時に、人類にとってその転換していく時に、人類にとってその転換していく時に、人類にとってその転換していく時に、人類にとっても、

世界中の人材が世界中の人材がはままってきますからね。そしてからは、心の壁がなく、言葉でがなく、言葉でがなく、言葉でががなく、言葉でなのできる人たちなのです。 うした活動をして いきます これから

ん。ですから、それを政・みがまだ確立されていま中にはそれを説明する仕 経済・社会の分野において、ん。ですから、それを政治・ ませ

今日、私は飛行機の操縦桿をもらったような気分です!エゴの方にレバーを下げると、エゴの興味が大事になります。逆に、全体の平和は自分の味が大事になります。かたしは今まで、全体意識を全く持たずに生きてきたので、レバーを天の方に上げようとしてもさびついて動かなくなっています。でも、ここには皆がいるので、となくなります。わたしは今まで、全体意識を全く持たずに生きてきたので、レバーを天の満を全く持たずに生きてきたので、レバーを天の満を全く持たずに生きてきたので、レバーを天の満を全く持たずに生きてきたので、とがしています。それがつな満を全く持たずに生きてきたので、となったという。

もしいの起

時代は確かにター時代は確かにターです。でも、それは頑ないを持っていいるりま なすべきことをなさせてくれるっていれば、時がその心をふさわり、とても静かなもの。ふさわしりません。それは、一人ひとりのりません。それは、一人ひとりのないがは頑張って革命のようなものをにターニングポイントを迎えてい

2016/7/16(土) ~ 18 (祝) あなたも次世代の生き方を

"

【開催場所】木の花ファミリー 【対象者】基本的に世の中の全ての方々 [HP] http://www.wotona-summit.org/jp/ 【お問合せ】特定非営利活動法人ぐり一んぐらす

E-mail:info@npo-greengrass.org 担当:古橋・粟田

TEL: 0544-67-0485

共に創っていきませんか?

れた外からの視点が大切なのです。れた外からの視点が大切なのです。おり、その客観的な視点を得ることにあり、その客観的な視点を得ることにあり、その客観的な視点を得ることにあり、その客観的な視点を得ることに

時

を迎えている。 ーニングポイント はす

み

と呼ばれる人々が集いました。そ れ死を迎える時に胸を張って旅 その豊かさを社会に還元し、いず 豊かな人ほど社会のために生きて は本来皆のものです。ですから、 る人々だからです。その豊かさと その恩恵を受けて豊かに生きてい れは、その人々が今の社会を創り、 代の新たな生き方を模索するため ました。 な問題が起きる中、来たるべき時 に、2010年9月にスタートし 当初は、主に今の社会で成功者 大人サミットは、 世界中で様々

立っていけるような生き方を提案 したかったのです。しかし、その

> いるということは、呼吸をするた が全宇宙の中のひとつだというこ 私たちは生きています。生きて

のような地球生態系の循環、さら 循環の中で私たちは生きています。 雨を降らせます。そういった自然 は風をつくり、空気を循環させ、 た意識で毎日を生きていると、こ 大地であり、太陽なのです。太陽 です。つまり、私たちは空気であり、 物が育つためには太陽の光が必要 物は大地から生まれ、大地に食べ て食べ物が必要になります。 めに空気が必要になります。 ところが、自分という主観に偏っ は変わっていきます。それが世の 自らの問題と向き合えば、世の中 界観を持ち、一人ひとりがどのよ 目覚める時が来ています。広い世構成する細胞である普通の人々が うな精神を持ってこの世界にどの ような影響を与えているかを知り、

を抜け出し、新たな時代を迎える がっていません。この現代の混乱 会を築いてきましたが、その偏っ ものを活かし、物理的に豊かな社 ために、地球生命ネットワークを た探求は人々の真の幸せにはつな てくれました。人類はそういった

です。

降りてきます。それは宇宙を貫く とつながると、そこに大きな柱が 法則であり、時の流れであり、こ る私たち一人ひとりが心を開き天 系というコミュニティで共に生き 生きることができます。地球生態 私たちはもっと大きく広い世界を の世界の柱です。それによって地 心を開き、外に意識を向ければ、

世界も、すべて私たちの世界なのたちが認識できる世界もできない 時も眠っている時も、生まれる前 私たちはそういったことをよく考 も生きている時も死んだ先も、私 える必要があります。起きている すべて私たちの世界なの

えることに強い興味を持ち、自ら きません。私たちの本質を辿って いる意識を持つことはなかなかでには宇宙の循環の中で生かされて かと言うと、自分自身の欲望を叶 のが、今の人類です。それはなぜ 命であることがわかります。しか トワークの一部を担う一種類の生 いけば、ひとつの大きな生命ネッ し、その同じ種の中で争っている

動きは、

皆に還元するという社会変革的な

なかなか浸透しませんで

がもっと豊かになりたい」という人々のベースにあるものは「自分 想いでした。その豊かさを手放し、

うか。そして私たちが認識してい 起きていることが現実なのでしょ ることが真実なのでしょうか。 心でも夢を見ます。そうすると、 くと夢を見ます。その夢以外に、 て、活動し、眠ります。眠りにつ がしています。私たちは毎日起き 筋の光が差してきたような感じ 3日間を皆さんと共に過ごし、

こう側や手前の側が真実なのか。 る今の世界が真実なのか、その向 ことです。では、私たちが認識す れる前や、死んだ先もあるという 生きているということは、生ま

へとつなげる活動をしていきま

これからも、ともに新たな時代

(大人サミット発起人 いさどん)

識し、地球に生きる人類としての分を認識し、社会の中の自らを認

を認識します。次に家族の中の自

私たちは生まれるとまず、自

でしょうか。

私たち人間とは、一

体何者なの

太陽系の中にあり、太陽系は銀河 自らを認識します。そして地球は

中にあります。それは、

私たち

さんの知識と物理的豊かさを与え

学は発展し、時代は私たちにたく

250年前の産業革命以降、科

の認識に欠けているからです。 クの一部分であるという広い視点 がひとつの大きな生命ネットワー

れば、自ずと平和は訪れるのです。

いており、必ずそのような時代が代は、宇宙は、確実にその方向に動表現していく必要があります。時 球というコミュニティに秩序が保 献できる人生を生きたら、真に豊 訪れます。一人ひとりがそこに貢 で存在しているのではありません。 私たちは、認識できる世界だけ たれていくのです。 かな喜びあふれる人生となること これからは、そこを超えた価値を

2016年2月14日~3月12日 「1ヶ月間の真学校」 私たちは もっと大きく広い世界を生きることができ

今まで知らずにいた本当の自分自身に出会い、私たちが地球に生きる真の意味を知る、 かけがえのない 1ヶ月間を過ごしてみませんか。それはきっと、あなたの人生を豊かに この世界を豊かにします。皆さんのご参加をお待ちしています!

詳しくはこちら! http://konohana.sixcore.jp/shingakko/

発行:木の花ファミリー/特定非営利活動法人ぐりーんぐらす

◆ 木の花ファミリーは、赤ちゃんからお年寄りまで個性豊かな100人近い人々が、互いを助けあいながら自然と調和して生きる、21世紀の暮らしを実践するコミュニティです。ご訪問はお気軽にどうぞ! 【住所】〒419 - 0302 静岡県富士宮市猫沢238 - 1 おひさまハウスひまわり 【電話番号】0544 - 66 - 0250 【メール】info@konohana-family.org このニューズレターはクリエイティブ・コモンズにもとづき、原著作者のクレジットを表示し、改変せず、非営利目的で使用する限りにおいて、自由に複製、頒布、展示することができます。

